

## 月刊 マスコミ市民

◆ジャーナリストと市民を結ぶ情報誌



2012 10 525

市民のひろば

# 静岡地本OB福島さん投稿 『マスコミ市民』に掲載!

脱原発、消費増税反対、憲法9条改悪を許すな!  
福島 一三

野田内閣は自民、公明、民主の三党による「消費税増税法案」を強引に可決成立させました。その前には世論の反対を無視して「大飯原発の再稼動」を容認し、関西電力は運転を再開しました。また政府の諮問機関である「国家戦略会議・フロンティア分科会」は7月6日「集団的自衛権の容認」を報告書として提出した。これは先の6月、「JAXA（日本宇宙航空研究開発機構）法」の「平和目的に限る」とした条文を削除する「法改正」が、民・公三党により可決成立

したと一体をなすものです。憲法を踏みこじる行為を私たちは許しません。さらに葛西JR東海会長は「原発再稼動に踏み切った野田首相の決断に敬意を表す」と最大の賛辞を送っています（7/8付読売新聞）。これは、リニアが原発と一体の物であることを意味するのではないのでしょうか。櫛の歯が抜けるように国会議員の離党が止まらない民主・野田政権は、もはや政権の体をなしていません。本来なら、これらの「法案」を通す前に「解散」して国民の信を問うべきでしょう。政府が「ガンバロウ東北」「つながろう」「絆」と言ってきたことは、震災や原発事故で故

郷を追われ、全てを失った人たちに寄り添い、共有することではなかったか。原発事故の原因も解明されないのに「再稼動」させ、どさくさに紛れて「憲法9条」を否定する「野田内閣」は、自・公政権を倒した「あの政権」ではないことがはつきりしました。

（静岡県静岡市）



月刊『マスコミ市民』No.525（2012年10月発行）に、静岡地本OB・福島一三さんの投稿文が掲載されました。原発推進や「戦争への道」を進もうとする野田政権やJR東海葛西会長を批判し、平和を訴えています。